

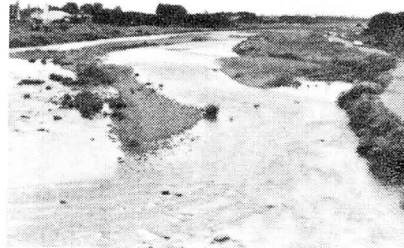
清水小学校

1、川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

飯坂街道の上松川橋付近

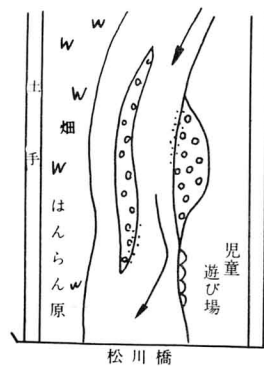
(2) 橋の上から川原や水の流れの様子を観察し、全体のおおよそのスケッチをする。



① スケッチの中に、川幅や中州の大きさ、川原の広さなどのおおよその数値を書き入れる。

② 川原ができているのは、流れの大きく曲がっている内側か、外側か。また、川岸がけずられているのはどちらか。

(3) 川原において流水のはたらきを調べる。



① 川がカーブしているところで、

20mの長さを測り、内側と外側の流れの速さを測定する。

② 水中のぞき箱などを用い、ゆるやかな流れの場所と、早瀬のような流れの速い場所とで、川底の違いを調べてみる。また小板の上に大きさの違う砂や小石をのせ、流れの中に沈めて砂や小石の流され方を観察する。

流れの速さと、砂や小石の運ばれ方にはどのような関係があるかまとめる。

③ 川の曲がっている内側と外側で、川岸につもっている砂やレキの大きさの違いも観察する。

④ 川の流れと川岸のけずられ方、川原や中州のできかたについてまとめる。

(4) 川原のレキを調べる。

川原で、レキのつもり方が平均的な場所を選び、1m四方の方形枠を置く。